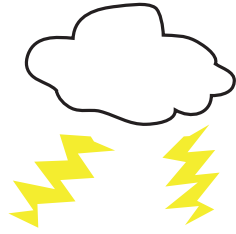


季節の気象にまつわる言葉

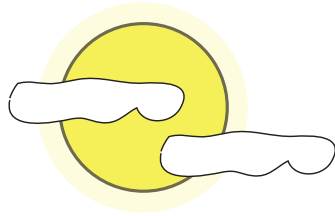
春

しゅんらい
春雷



三月頃に鳴る雷のこと。春の到来を告げる。春の雷ともよばれる。

おぼろづき
朧月



春の夜にやわらかくかすんで見える月のこと

夏

雲の峰

積乱雲のこと。入道雲や雷雲ともいう。



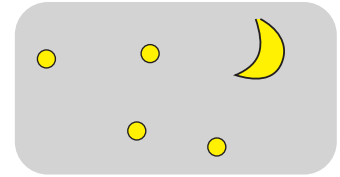
しゅうう
驟雨

突然降りだししばらくしてやむ雨のこと。にわか雨や夕立ともいう。



星涼し

夏の夜に涼しげな光を放つ星



秋

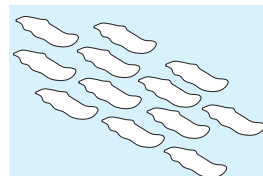
夕映え

夕日を受けて美しく輝くこと。夕焼け。



天高し

空気が澄んで晴れた空が高く感じられること。



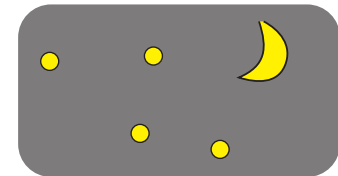
いわしぐも
鰯雲

鰯の群れのように小さな雲が空一面に広がっていること。うろこ雲ともいう

冬

星冴ゆ

空気が澄んで星の輝きが増すこと。



ふゆぎんが
冬銀河

冬に見られる天の川のこと。銀河は秋の季語で冬銀河は冬の季語



風花

初冬の晴れた日、花びらが舞うように降り落ちる雪の事

